質問者
三木浩一議員

学都にふさわしい教育環境をめざして

問 小中学校の老朽化に伴う施設内部の設備の更新・雨漏り対策、家庭環境や社会状況・気象状況等の変化に伴う施設・設備・備品の最新化の計画はどうなっているのか。財源も含め、近い将来にしなければならない状態にもかかわらず計画が見えてこない。いつ提示できるのか示してもらいたい。

答 建築後30年・40年を経過した物が多くあり、維持管理に苦慮している。雨漏り等は、昨年と比して改善はしているが、全てには対応できていない。大規模改修・長寿命化改修時に実施することが財政的に有利であり、国庫補助など特定財源の確保に努めていきたい。年次計画的なものは、今後の財政計画を踏まえて決定していきたい。設備・備品についても、時代にそぐわないものがあることは承知している。年次的に更新していきたい。

公契約条例について

問 公契約条例については、当初は全国でも実施自治体は少なく、「趣旨は理解している。調査研究・周辺自治体の様子も見て」という回答であった。どう理解しているのか。適正な工事の確保や地元事業者を守る上でも必要なものと考える。今では、県下でも制定あるいは制定に向けて動いている自治体も増えているが、いつになれば進むのか。

答 労働者の適正な労働条件を確保するという趣旨と理解している。県下の他市の制定状況において、工事の適用範囲や最低賃金額などの設定に曖昧な部分もあり課題がある。県が「県契約における適正な労働条件の確保に関する要綱」を本年4月に制定しており、その趣旨に同調し、事業者の理解のもと、本市においても制定に向けて検討していきたい。

学校給食の今後のあり方について

問 新宮給食センターと神岡小学校の給食室の稼働停止は、中央給食センターの稼働で乗り切れた。しかし、御津給食センターや現在稼働している自校方式の給食室も応急処置的な修理のみで、いつ稼働停止になっても不思議ではない状況である。それぞれの施設がいつまで稼働できると考えているのか。また、延命していくための費用はいくら必要と考えているのか。

答 老朽化が進み、更新には多額の費用がかかるため、長寿命化するためメンテナンス等を入念に行っている。今後の給食サービスの在り方は、自校方式・センター方式を含めて検討している。現行の給食室を改築する場合、現行の学校給食衛生管理基準では敷地等の拡大も必要なため小規模校の給食室でも数億円規模の事業になる。

質問者
木南裕樹議員

子育て環境について

問 たつの市幼稚園・保育所再編計画について、今後は、いつどのような形で市民への説明を行うのか。

答 再編計画において継続して検討としている8施設について、地域の実情に応じて適正な定員規模及び今後の施設の在り方について検討していくこととしており、内容が固まり次第、該当地域への丁寧な説明をさせていただきたいと考えている。

問 平成29年度に開設予定の子育て包括支援センターについて、市職員以外にどのような専門職を配置するのか。また、開設場所はどこを考えているのか。

答 様々なニーズに対して総合的相談等に適切に対応するため、保健師・助産師・社会福祉士等の専門職を検討している。開設場所としては、保健師・家庭児童相談員等を配置している現在の子育て支援課内を予定している。

職員の採用について

問 保育士や保育教諭、幼稚園教諭、図書館司書などの有資格の専門職は、経験者枠採用において優秀な人材の確保のため、年齢制限を外せないのか。

答 資格職における経験者の採用については職務経験により培われた知識・能力等を生かし、即戦力となりうる人材を確保するため実施している。受験対象となる年齢層については、職員全体の年齢構成により年齢層の薄い階層を補充する趣旨から決定したいと考えている。

問 臨時職員の賃金において、経験や業務内容によって、同じ保育士でも賃金に幅を持たせるべきだと考えるがどうか。

答 保育士については全国的に人材確保の必要性が高まっていることもあり、県内の自治体において、経験年数によって賃金に差を設けている自治体もあると聞き及んでいることから、現在、導入根拠の考え方、職務の内容と責任の差、それに応じた賃金設定の状況について調査している。本市としても、人材確保の面から対策を講じていく必要性を強く感じているところであり、改善に向け検討していく。

学校教育について

問 2020年からの新学習指導要領について、小学校では授業数が増えると予想されるが、土曜日の活用や夏休みの短縮などの計画はあるのか。

答 授業数の増加に対し、朝の時間に実施しているモジュール授業（短時間の学習）を活用するなど、児童にとって過重な負担とならない方策を模索している。現時点において土曜日の授業及び夏休みの短縮については計画していない。今後、各学校の状況を十分に把握したうえで検討していく。